

## 先輩に聞く！プログラマーへの道しるべ vol.21 山口沙南さん

みなさんは、世界の第一線で活躍されている女性プログラマーの方々をご存知でしょうか？ JOI情報オリンピック日本委員会が実施する「先輩に聞く！プログラマーへの道しるべ」では、プログラミングやその周辺の技術や知識を使って活動している女性の先輩方に、お仕事内容や学生時代についてのお話を伺っていきます。

第21回目に登場いただくのは、鈴与シンワート株式会社のデジタルビジネスソリューション事業部に所属し、開発をされている山口沙南（やまぐち・さな）さん（以降、沙南さん）です。聞き手はJOI情報オリンピック日本委員会理事で東京大学の山口利恵（以降、山口）が務めます。ぜひみなさんの進路の参考にしてみてくださいね。



鈴与シンワート株式会社の山口沙南さん

## 営業職を支援する社内ソフトを開発

山口 鈴与シンワートがどんなことをしている会社か教えてくださいませんか？

沙南さん さまざまな企業や自治体、銀行などの「IT」に携わる仕事をしている会社です。物流企業「鈴与株式会社」のグループ企業なので、運転前後のアルコールチェックを管理するクラウドサービスなどもつくっています。

山口 実際入社されてみて、とても居心地がいいとか。

沙南さん はい。風通しがとても良くて、直属の上司だけでなく、事業部長とも将来のキャリアやプライベートの話をしています。機会があれば、自分がやりたい分野の仕事を担当させてもらえるなど、社員平等にチャンスがある会社だと感じます。

山口 人を大事にする会社なんですね。

沙南さん 鈴与シンワートは「人財」という言葉を大事にしているのですが、その言葉通り、お互いを思いやりあって仕事をしていると感じます。

山口 山口（沙南）さんは、デジタルビジネスソリューション事業部に所属とのことですが、どんな仕事をされているのですか？

沙南さん 営業支援ソフトというものを開発しています。これは、人や会社を相手にものを売ったりする仕事である「営業」の活動をより円滑にするための支援システムです。私はその中でも、営業の方が実際に獲得した案件や、営業に行った回数、それによって生み出された利益などのデータをダッシュボードという1枚の紙のようなものに落とし込む仕事をしています。

山口 営業さんというと1人で頑張っているようにも見えますが、横の連携も大事ですね。

沙南さん そうですね。それぞれが持っている情報を連携して、全員が見られる状態にすることがとても大事なことだと思います。

山口 どんなところに楽しさを感じていらっしゃいますか？

沙南さん 実際にアプリを使っている営業さんに、直接話を伺う機会があったのですが、要望や感謝の言葉をいただいた時には、とてもやりがいを感じました。

山口 お仕事以外にも楽しみがあるとのことで、最近韓国に行かれたそうですね。

沙南さん ソウルに行って、日本では食べられないユッケをお皿いっぱい食べました。それから、北海道に8人くらいでスキーとスノボに行って、夜はみんなでお酒を飲みました。



福岡から九州大学の経済学部に進学

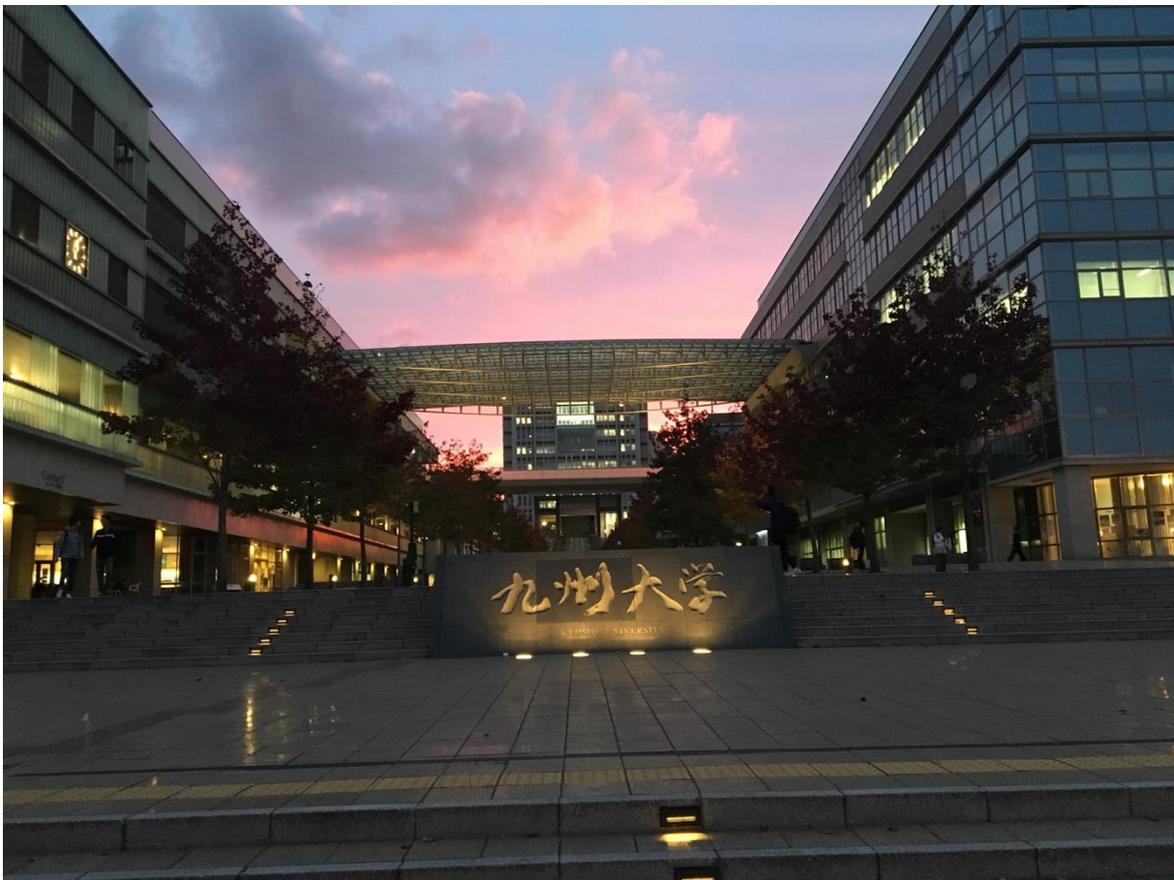
山口 出身は九州なんですよ？

沙南さん 福岡県出身で、太宰府天満宮がある太宰府市で生まれ育ちました。大学は九州大学の経済学部経済工学科に進みました。

山口 大学で取り組んだことを教えていただけますか？

沙南さん 大学3年生のときにコロナが流行ったのですが、R言語を使ってこれまでのコロナの影響感染者の増減から、今後を予測するという論文を書きました。ただ、その頃コロナが始まったばかりというのもあって、データが思うように集まらなくてあまりいい結果は得られなかったという思い出があります。

山口 こちらの写真は九州大学ですか？



沙南さん 一番新しく大きい「伊都キャンパス」のエントランスです。

山口 バスケットもずっとやられているそうですね。



沙南さん 中学生からバスケットを始め、その流れで大学でもバスケットサークルに所属しました。バスケットサークルに入ったおかげで、先輩後輩関わらず友達がたくさん増えました。旅行に行ったり、ご飯に行ったり、もちろんバスケットで会ったりしますし、とてもいい繋がりを得られたなと思います。

山口 アルバイトもたくさんしたとか。

沙南さん アルバイトは結構いろいろ経験して、パン屋や居酒屋、チェーンの回転ずし、お蕎麦屋さん、コールセンターで働いたりしました。ストレスは寝たら忘れるタイプなので、コールセンターの仕事は向いていたなと思います。

## 将来の職業の幅を狭めない学科を選択

山口 理系を選ばれた理由は？

沙南さん 理系に進むことを先に決めてしまったので、大学は理系の学部には絞られました。が、その中でも九州大学の経済学部を卒業した方たちの進路の分野が幅広くて、いろんな可能性を秘めているし、自分のやりたいことの幅を狭めない学部だなと感じたので、経済学部を目指しました。

山口 高校の先生がすすめてくれたそうですね。

沙南さん はい。高校2、3年の担任の先生が、卒業生で進んだ子がいるよとすすめてくれて、実際に見学に行っていていいなと思ったのがきっかけです。

山口 プログラミングはいつ頃からやられていたんですか？

沙南さん 大学1年生の必須科目の中にプログラミング基礎という講義があって、その時が初めてです。小学生からパソコンの授業はありましたが、エクセル関数の授業や、みんながパソコン検定を受けるというものでした。

山口 その頃の夢はなんですか？

沙南さん 安定した仕事がいいなと思い、将来の夢には公務員と書いていました。

山口 お仕事で実現したいことはありますか？

沙南さん 知識をたくさん増やして行って、最終的に会社のプロジェクトを幅広く担当できるマネージャーになれたらいいなと思います。

山口 最後に、未来のプログラマーへメッセージをお願いします。

沙南さん 今、好きなものがある方は、好きなものがあるということ自体、すごいことだと思うので、その気持ちを大事にして行ってほしいです。私と同じように、将来の夢がなく、やりたいことわからないと焦っている方は、ぜひ目の前のことを一生懸命頑張ってみてください。頑張ったことがきっと何かに繋がると思います。

山口 本日はありがとうございました。

**【インタビューを終えて】**

より広範囲で利用可能なシステムの開発を、他の方々と連携しながら進めている山口沙南さん。技術を活かすためのさまざまな議論について、とても楽しそうに話してくださいました。（山口）

次回もお楽しみに。